

データベース登録時のエラー回避方法

データベース登録を行うと、次の画面のようなエラーが表示されることがあります。



このメッセージは、以前のデータベースがコンピュータ内に残っている状態で、MSDE を再度インストールし、データベース登録を試みた場合に発生します。

<対処法 1 >

(1) MSDE フォルダ内に残った賃貸名人データベースファイルの削除

以下2つのファイルを削除します。(フォルダは標準インストール先)

C:\MSSQL7\DATA\DB_LanSQL.mdf

C:\MSSQL7\DATA\DB_LanSQL_log.LDF

(2) データベース登録の再試行

再度データベース登録を行ってください。

まだ、エラーメッセージが表示される場合は<対処法 2 >に進んでください。

<対処法 2 >

MSDE を完全にアンインストール後、再度インストールします。他のソフトで MSDE を使用されている場合、必ずバックアップを取得してください。また、ソフトの再設定が必要ですのでご注意ください。

(1) MSDE のアンインストール

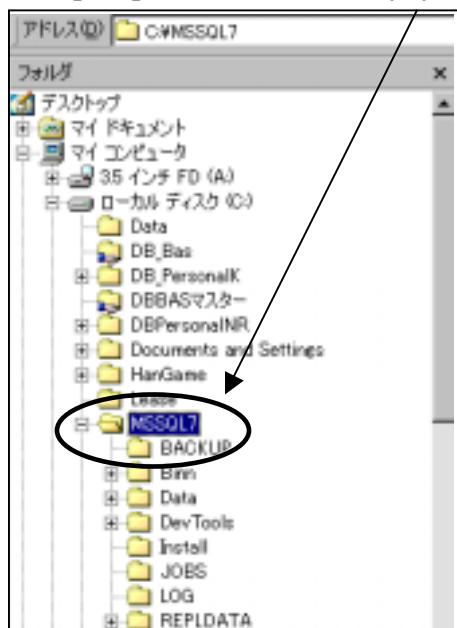
コントロールパネルの『プログラムの追加と削除』から ” MSDE ” 及び ” MSDE インストール ” を削除してください。

(2) MSDE インストールファイルの削除

すでに ~ のフォルダが存在しない場合はこの手順を飛ばし【 2 .MSDE 登録情報の削除 】へ進んでください。

MSDE 構成ファイル

[エクスプローラ] [ローカルディスク (C) ドライブ] **フォルダ Mssql17 を削除。**



インストール情報ファイルの削除

C:\Program Files\InstallShield Installation Information\

内のインストール情報ファイルを削除してください。

同フォルダ内に数字の羅列が記されたフォルダが（場合によると複数）格納されております。このフォルダ群のうち MSDE のインストール情報が記録されたフォルダのみ削除する必要があります。ウィンドウズに必要な別のフォルダを削除してしまいますと、エラーが発生してしまう可能性がありますので、ご注意ください。

フォルダの識別は、該当フォルダ内にある Setup.ini の内容を参照していただければ同ファイル内に MSDE の記述 (AppName=MSDE Install) がありますので可能です。Setup.ini が存在しない場合は の作業をスキップし次項に進んでください。

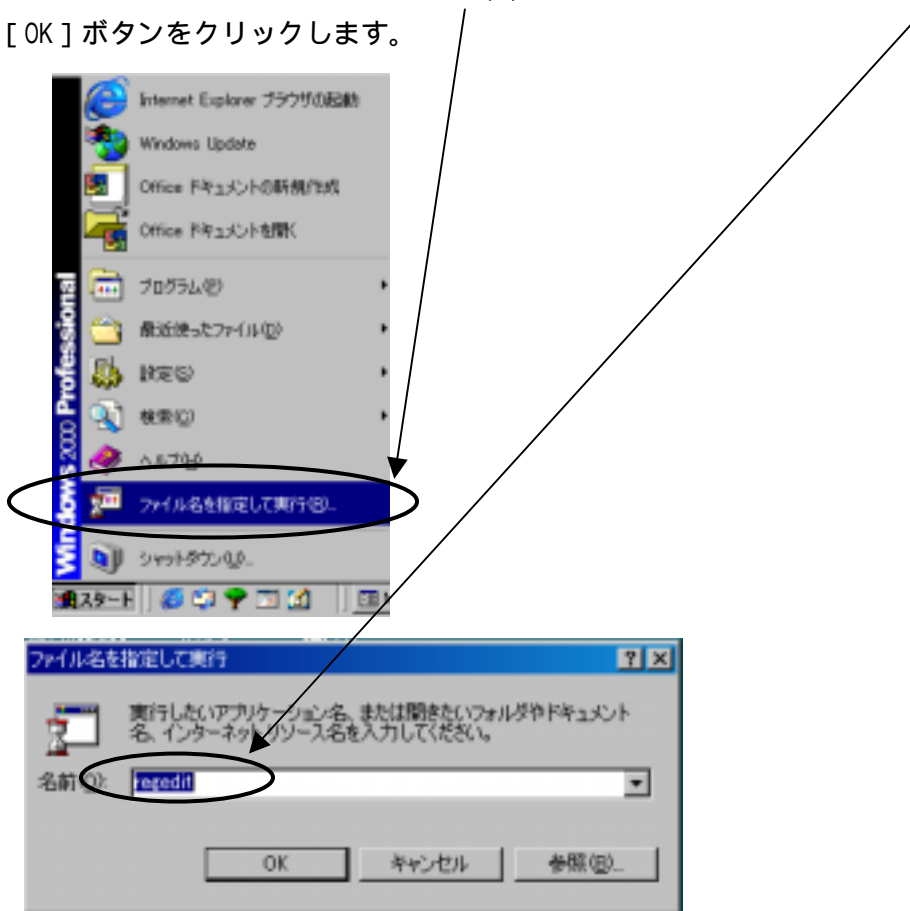
(3) MSDE 登録情報の削除

レジストリエディタを起動し Windows から MSDE の登録情報を削除します。

下の で示したレジストリキーで存在しないキーがある場合、存在するものだけ削除します。

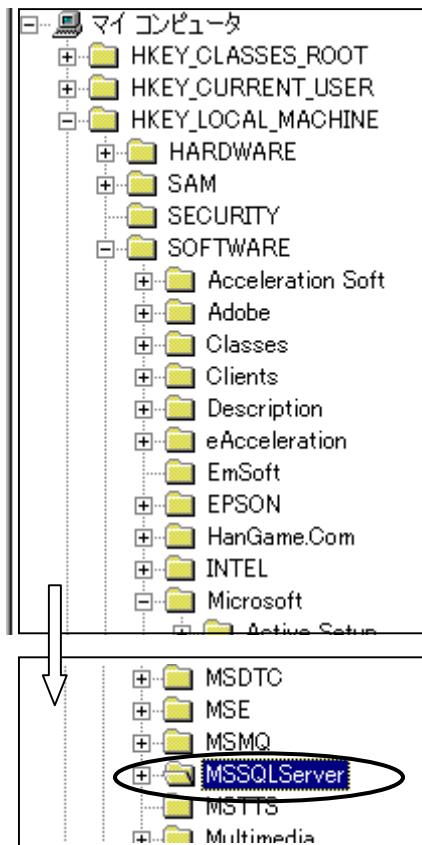
レジストリエディタの起動

[スタート] [ファイル名を指定して実行(R)] をクリックし、名前欄に「regedit」と入力し [OK] ボタンをクリックします。



レジストリキーの削除

起動したレジストリエディタで、「HKEY_LOCAL_MACHINE」 「Software」 「Microsoft」 「MSSQLServer」を削除します。



同様に以下のキーも削除してください。

「HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Uninstall\MSDE」

「HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Uninstall\{E3E72586-56C9-00000000-0000-00000000}」 1

1 パラメータの「Display Name : MSDE Install」から判別。

(4) MSDE の再インストール

以上で MSDE のクリーンアップは終了です。製品ディスクから「MSDE」のみインストールを行ってください。インストール時にはお使いのセキュリティソフトを一時的に停止してください。